

「一枚ポートフォリオ」の記述内容

【前時】「みんなちがって、みんないい。」とは

人間、動物、植物など、この世界に属するもの全てに、とってもいいところ、個性や特色があるということだと思う。その個性や特色は、一人一人あるいは一つ一つが微妙に違っており、それらには深い意味があることを尊重した詩である。「世界に一つだけの花」にあるように、「オンリーワン」をずばりうたっている。そのわずかに違った「色」を、お互いに認め合って、これからの世界で共存していこうということを伝えたい詩ではないかと思った。

【本時】「みんなちがって、みんないい。」の本当の意味は

一人一人、あるいは一つ一つにでこぼこがあり、人はそれを個性と呼ぶ。その個性は、その人自身であり、でこぼこがあるからこそ、人は人と協力できたり、発展できたりすると思う。長所や短所がないと、みんな本当にただ同じになってしまい、違う意味で「みんないい」ということになる。その時の「いい」は、完璧でいいという意味になると思う。

でも、完璧に憧れるのは、誰一人そのような人がいないし、ありえないからであって、逆に完璧であつたら気味が悪い。比較したくなるけれど、お互いにその能力は比べものにならない。だから、「いい」とうたっている気がする。

その能力などが違うことによって、「人」が「人」と出会えたり、協力できたり、お互いに手をとって生きていけるはず。お互いの評価観は違っていたりするけれど、そのフォローやカバーで共存していけると思う。

だから、「みんなちがって、みんないい。」とは、でこぼこを補い合いながらも、そのでこぼこを大事にし、共存していこうという意味だと思う。他の班の意見を聞いてなるほどって思えることがいっぱいあった。すごくすごく勉強になった。

【事後の変容】この学習を通して、あなたの何がどのように変わりましたか。そのことについて、あなたはどのように思いますか。

以前までは、詩を読むことは苦手だったし、読んでそこから考えたり、見えない気持ちを読み取ったりという学習は苦手だった。でも、今回の学習を通し、また様々な詩を読んだことによって、自分の詩に対する考え方が少しずつ変わってきたと思う。何回も読んで、読むたびに他に見つけられることはないか、と考えながら読めるようになった。それは、他の人にとって当たり前のことかもしれないが、私にとっては大きいことでとても嬉しい。

また、人の意見や考えを聞くことで、その詩に対する視野が広がったし、吸収することも多かったのではないかと、思った。これから入試など、文章の読解に必要なものが、まだ少しだけついてきている気がする。つけた力は、結果で考えると、やっとアベレージに追いついたくらいだと思うが、自分自身のみで考えると、この学習はすごく勉強になった。もう一度、このような学習を行いたい。